

新春懇談会



お客様を思いやる「こころ」

市長 皆さんは自分のやってる今の仕事をもっと大きくしたい、収益を上げたいと思ってい

ると思います。私も民間会社を経営していましたが、その強い思いは分かります。そこで、今やっている仕事をより良くするために、取り組んでいることを教えてください。

山本 私は以前に、8尺の脚立

を持って仕事に行こうとした時、親方に仕事では必要のない12尺の脚立を「なぜ持っていないんだ」と言われました。親方は「12尺の脚立があれば、仕事が早く終わった時、お客様に頼まれれば、雨どいを一回り掃除することができらるだろう。8尺しか持っていないからではできないだろう」と言われました。

小田島 私が一番大事にしていることは、仕事を断らないようにしているところです。困っているから私の会社に電話がかかってきたのでは、ほかに断られ続けてきたから連絡してきたのではと思

い、仕事を引き受けています。話を聞き、現場に行き、それが厳しい仕事であっても、引き受けるようにしています。お客様とは、困



おだしまのぞむ 小田島 望さん (型枠大工)

たときこそ、自分を頼りにしていただけのような関係を築いていきたい、と思っています。

野口 私は、J A茨城みなみの施設園芸部に所属しており、そちらの売り上げが直に自分の収益に反映するので、家業とともにそちらの

ピールにも力を入れています。市場の担当者をお願いして、販売店のスーパーの店頭立ち、商品を直にPRすることにも取り組んでいます。しかし、まだまだアピールが弱いとも感じています。そこで、トマトだけを売るのはなく、トマトの加工

品を作り、販売する取り組みも始めたところです。トマトと一緒に加工品も提供できれば、お客様も喜んでくれるはず。中島 今年でお店を出して10年になります。この10年間というのは、ボランティア活動を通して、スタッフの人間教育や技術、接客の勉強に取り組みしており、一人ひとりのお客様を大切にしている「心の経営」というものを心がけてきました。自分の中にはまだまだ次の夢があるので、その実現に向けてのステップとして、他業種だったり、広い視野を持って情報収集、勉強をしているところ



のぐちよしのり 野口 嘉徳さん (トマト栽培)



やまもとじゅん 山本 潤さん (植木職人)

です。